

「公立図書館の振興・発展に関する政策」についての 公開質問状

(1) 公立図書館の振興・発展に関する政策についてお考えをお聞かせください。

公立図書館や郷土資料館、博物館等の充実を地域起こしの一環として位置付け、公立図書館等の整備充実を進めます。また、文字・活字文化の振興を図るとともに、図書館司書の充実を図ります。学校図書館や児童図書館の充実と司書等の配置を促進するとともに、図書館を子どもたちの居場所の一つとして位置付け、子どもの読書環境を改善します。

(2) 「活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト」の「5つの提言」について、お考えをお聞かせください。

1. 首長の指導力と住民参画による図書館運営

公立図書館や郷土資料館、博物館等の充実を地域起こしの一環として位置付け、公立図書館等の整備充実を進めます。

2. MARC選択の多様性確保とNDCの付与 デジタル化による子ども達の視力低下や筆圧低下、手書き離れによる学習影響等、デジタル教科書導入による効果を科学的に検証します。

学びの多様性を確保することが重要だと思います。デジタルとアナログを組み合わせより良い環境を作ることが大切です。

3. 図書納入は地域書店を優先

公立図書館や郷土資料館、博物館等の充実を地域起こしの一環として位置付け、公立図書館等の整備充実を進めます。

4. 司書の社会的地位の確立 国・自治体が率先して非正規問題に対応するため、公務部門における非常勤雇用問題や官製ワーキングプア問題の解決を目指し、公務員にも労働契約法等の趣旨を適用すること等、具体的取り組みを進めます。

5. 新しい評価指標づくり

行政が独占してきた公共政策にかかわる情報を活用しやすい形で公開することにより、行政の透明性と信頼性を向上させます。情報通信技術を活用した効率的な情報共有やコラボレーションを通じ、市民・企業など多様な主体が政策決定プロセスに参画して、ともに公共を担うオープンガバメント(開かれた公共)への転換を進めます。

<https://current.ndl.go.jp/node/38474>

<http://www.mojikatsujii.or.jp/policy/2019/06/27/3376/>

【連絡先】 図書館友の会全国連絡会 事務局長 船橋佳子 (以下個人情報のため省略)

【参考】

「図書館友の会全国連絡会」HP <http://totomoren.net/index.html>